

NCC ログコレクターについて

NCC ログコレクターは NCC(Nutanix Cluster Check) 1.3.1 より導入された NCC のプラグインです。
NCC ログコレクターを実行すると以下のような情報を取得することができます。

- 1 台以上の CVM のログ、および構成情報
- ハイパーバイザーの構成情報
- sysstats ユーティリティーから生成されたログ
- アラートに関する情報

NCC ログコレクターの取得方法

NCC ログコレクターは以下のいずれかの方法で取得します。

1. [Prism Web コンソールの “Log Collector”メニューを実行する](#)
2. [CVM から “ncc log_collector” コマンドを実行する](#)

※Prism Web コンソールの “Log Collector”メニューは AOS5.0 から対応しています。

NCC ログコレクターの取得手順

1. Prism Web コンソールの “Log Collector”メニューを実行する
 - (1) Prism Web コンソールにログインします。
 - (2) Health（健全性）ダッシュボードの “Actions” ドロップダウンメニューから “Log Collector” を選択します。
 - (3) ログを収集するオプションを選択します。

Run Log Collector ? X

Logs will be collected for all the nodes and components. Once the task completes the bundle will be available for download.

☒ Collect Logs starting now

FOR THE PAST

Hours ▾ 4 (4-23)

☐ Custom Date Range

Cancel Run Now

- a. Collect Logs starting now : 時間数または日数に基づいてログを収集します。
デフォルトでは、このオプションが選択されています。”FOR THE PAST” ドロップダウンメニュー で “Hours” を選択した場合は、過去 4～23 時間分のログが収集できます。“Days” を選択した場合は、過去 1 日分のログを収集できます。
- b. Custom Date Range : ”START FROM” と “END BY” フィールドに指定した日時の範囲に基づいてログを収集できます。
時刻フィールドは自動的に入力時の時刻に更新されますが、収集を開始したい時刻に変更することもできます。

注：ログは 4 時間から 1 日の範囲で収集できます。

- (4) “Run Now” ボタンをクリックしてログ収集を開始します。
ログ収集が終了すると、“Tasks” ダッシュボードでタスクの STATUS が “Running” から “Succeeded” に変わります。

実行中の画面表示：

OPERATION MESSAGE	ENTITY	PERCENT	STATUS	CREATE TIME	DURATION
Log collector	Cluster	 85%	Running	08/30/17, 6:16:43 PM	-

完了後の画面表示：

OPERATION MESSAGE	ENTITY	PERCENT	STATUS	CREATE TIME	DURATION
Log collector	Cluster	 100%	Succeeded	08/30/17, 6:16:43 PM	23 minutes

- (5) STATUS の “Succeeded” をクリックしてログバンドルをダウンロードします。
ログバンドルは以下のファイル名で作成されます。
NCC-logs-<日付>-<クラスターID>-<ctime>-<unix time>.tar
例) NCC-logs-2017-08-30-1234-1504085968.tar
- (6) 作成されたログバンドルを Nutanix サポートに送付し、ケース担当者にアップロードしたファイル名と MD5 チェックサム値をご連絡ください。

2. CVM から “ncc log_collector” コマンドを実行する

NCC ログコレクターを使用するには CVM から以下のような形式でコマンドを実行します。

```
nutanix@cvm$ ncc log_collector [プラグイン名] --[オプション名]=[値]
```

複数のプラグインに関するログを取得する場合は、**--plugin_list** オプションでプラグインをカンマ区切りで指定します。

例えば、**cvm_config**、**cvm_logs**、**cvm_kernel_logs** のプラグインを指定して実行したい場合は以下のように指定します。

```
nutanix@cvm$ ncc log_collector --plugin_list=cvm_config,cvm_logs,cvm_kernel_logs
```

各プラグインで使用可能なオプションは以下のように [プラグイン名] **help_opts** を指定して実行すると表示されます。

以下の例では、**cvm_logs** のプラグインで使用可能なオプションとその内容が確認できます。

```
nutanix@cvm$ ncc log_collector cvm_logs help_opts
```

(1) ncc log_collector コマンドのプラグイン

ncc log_collector コマンドで利用できる主なプラグイン名と取得される内容は以下の通りです。

プラグイン名	取得する内容
run_all	全てのプラグイン（デフォルト設定、直近 4 時間の全ての情報を取得）
cvm_config	CVM の構成情報
sysstats	CVM のシステム統計情報
cvm_logs	CVM の一般的なログ
cvm_kernel_logs	CVM のカーネルログ
alerts	CVM のアラート情報
hypervisor_config	ハイパーバイザーの構成情報
hypervisor_logs	ハイパーバイザーのログ
hypervisor_logs -- hyperv_log_level='CRITICAL','ERROR','WARNING', 'INFO', 'DEBUG' --hyperv_cluster_logs=True	ハイパーバイザーのログ（Hyper-V のクラスターログを取得）

(2) ncc log_collector コマンドの実行結果

ncc log_collector コマンドを実行すると、実行した CVM の /home/nutanix/data/log_collector 配下に tar ファイルが作成されます。

作成された tar ファイルを Nutanix サポートに送付し、ケース担当者にアップロードしたファイル名と MD5 チェックサム値をご連絡ください。

(3) ncc log_collector コマンドの実行例

- 全てのプラグインのログを取得する（デフォルトで直近 4 時間）
`ncc log_collector run_all`
- 全てのプラグインのログを過去 12 時間分について取得する
`ncc log_collector run_all --last_no_of_hours=12`
- 全てのプラグインのログを過去 1 日分について取得する
`ncc log_collector run_all --last_no_of_days=1`
- 全プラグインのログを特定の時間帯について取得する（例：2017 年 8 月 3 日 10 時～18 時）
`ncc log_collector --start_time=2017/08/03-10:00:00 --end_time=2017/08/03-18:00:00 run_all`
- 全てのプラグインのログを過去 4 時間分について取得し、Case 番号 “00123456” のログとして Nutanix サポートにアップロードする（インターネットに接続できるクラスターのみで使用）
`ncc log_collector run_all --last_no_of_days=1 --upload_file=True --case_number=00123456`